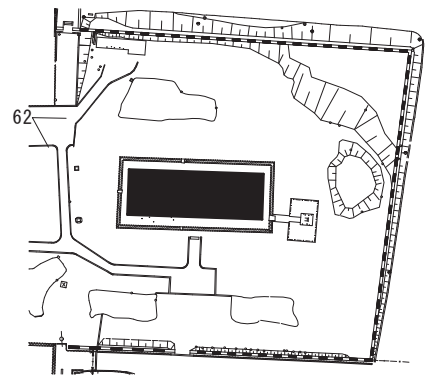
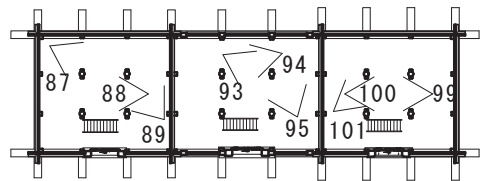


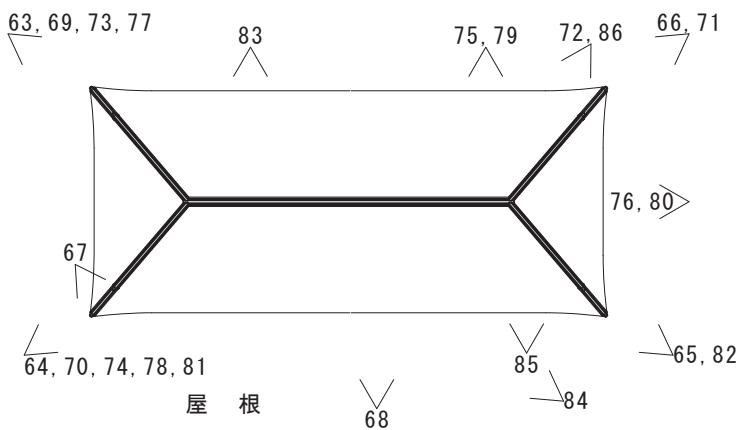
# 三 解 体



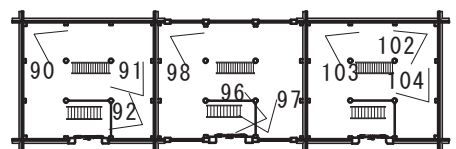
61



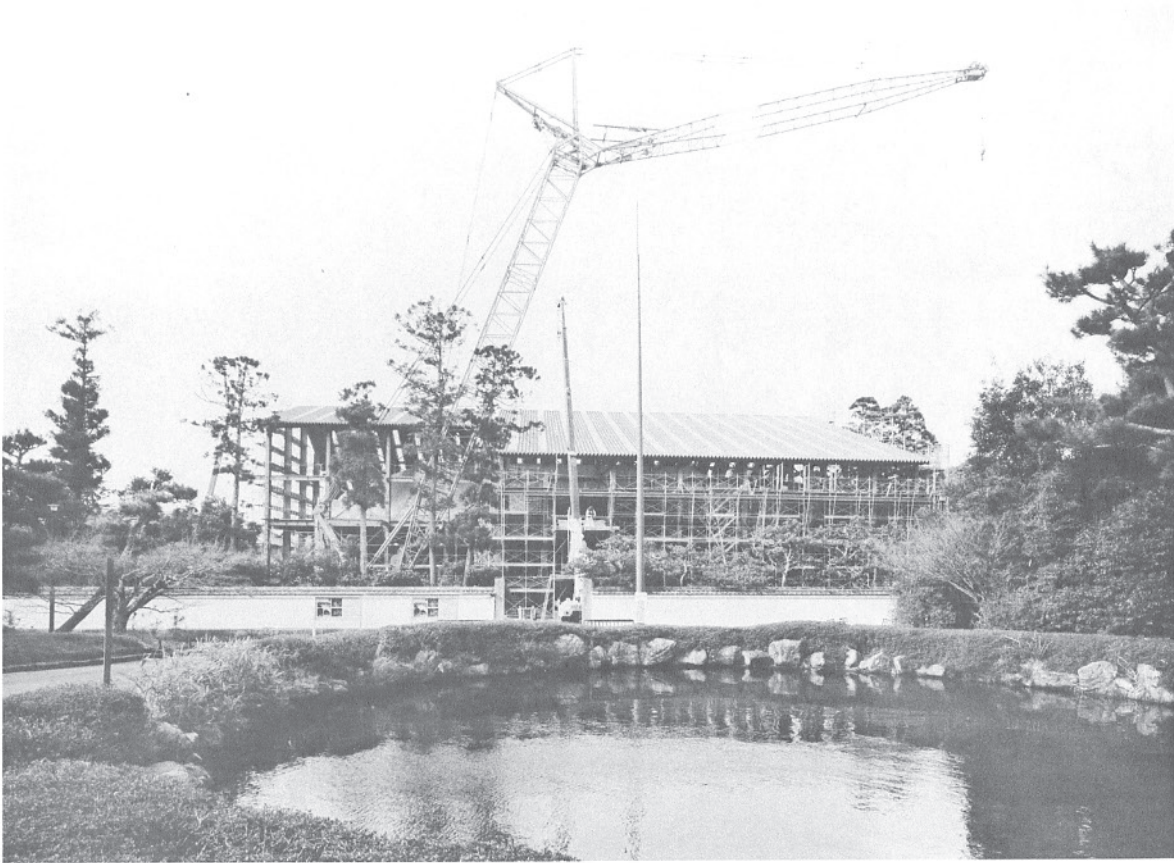
一階



屋根

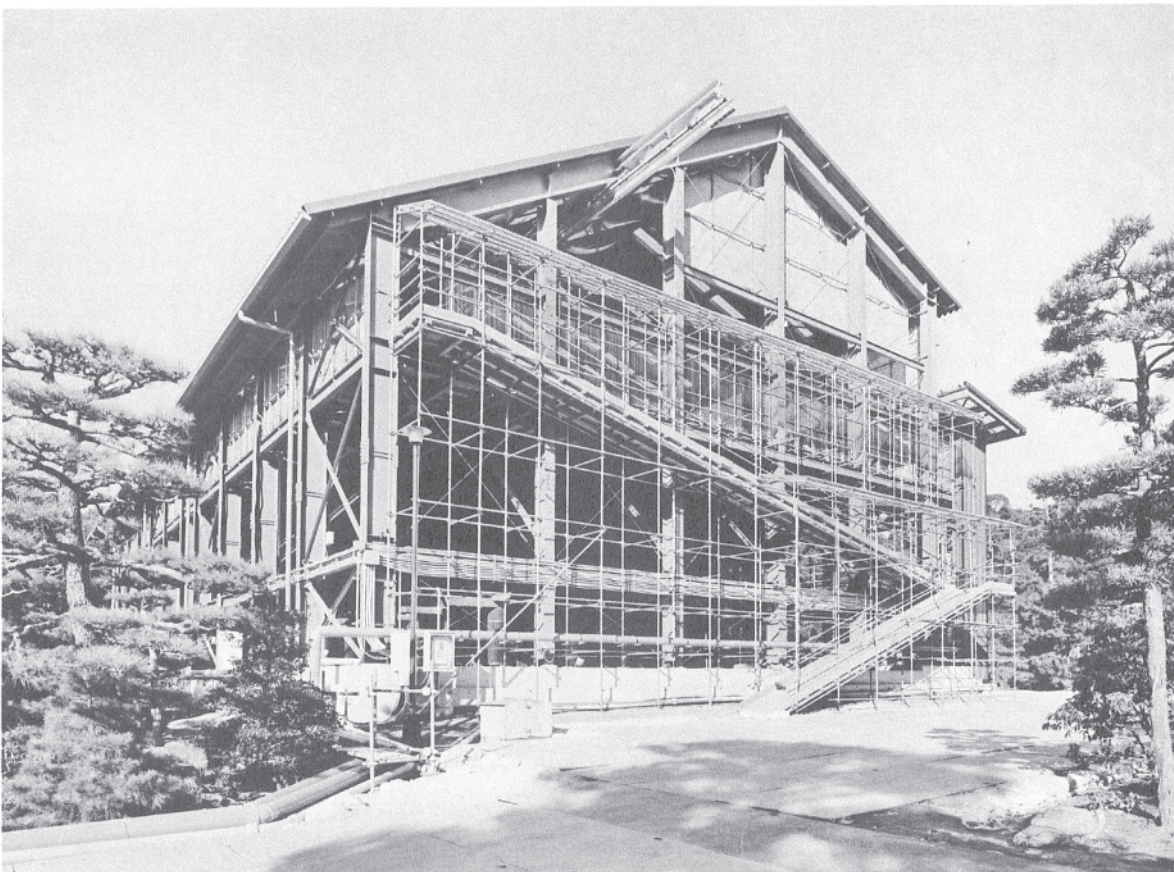


二階



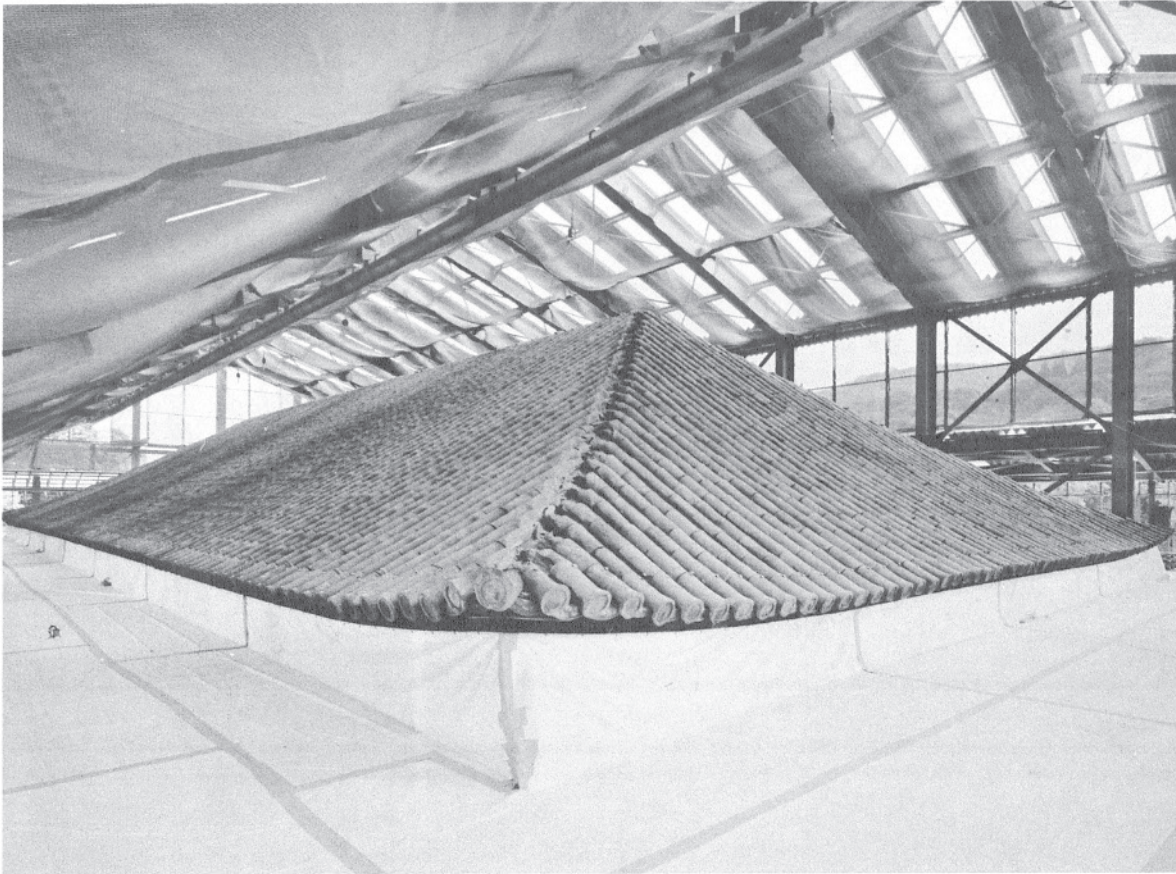
61 素屋根組立

東より見る。素屋根は大型の150tクレーンと小型のクレーンを併用しながら組み立てた。

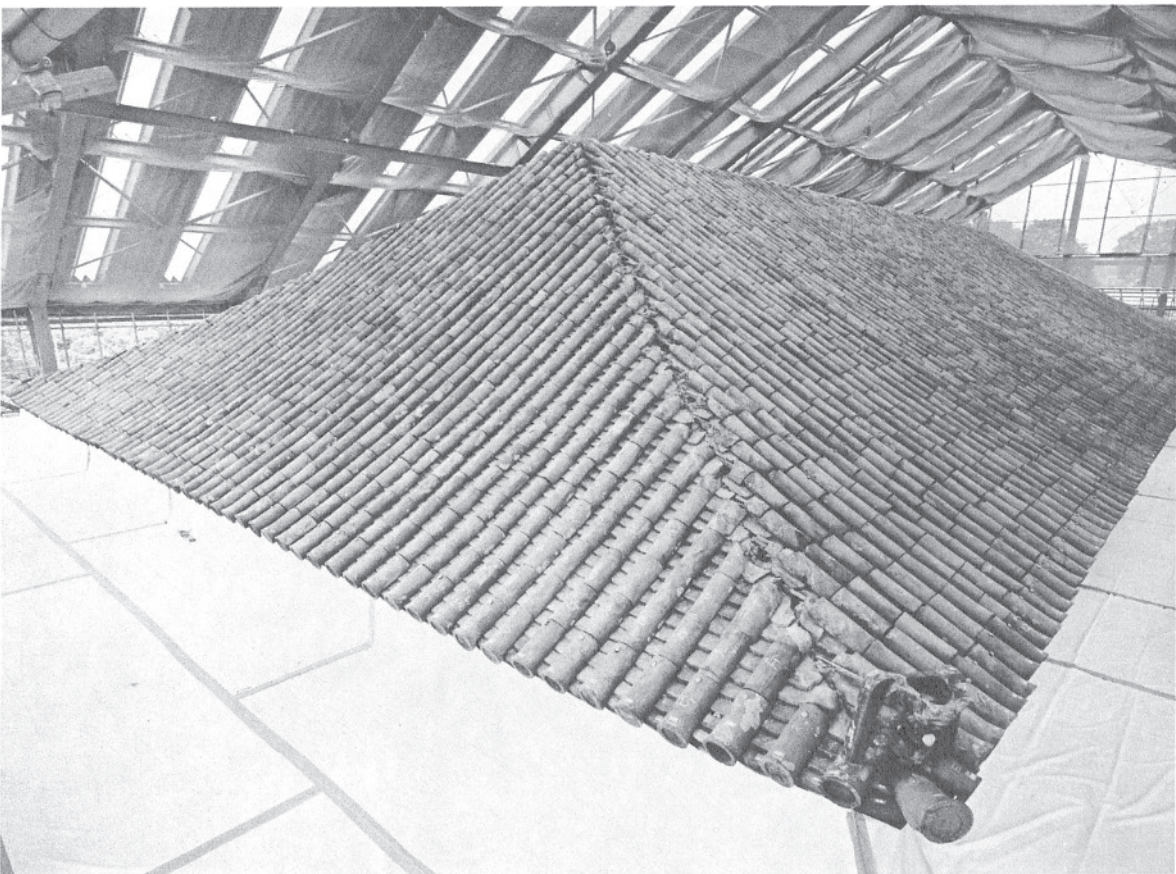


62 素屋根完成

西南より見る。正倉周辺は、史跡東大寺旧境内にも指定されているので、素屋根の基礎は地盤を掘り込まないように現地盤上に置いた。南面には施工用に登架橋を設置した。



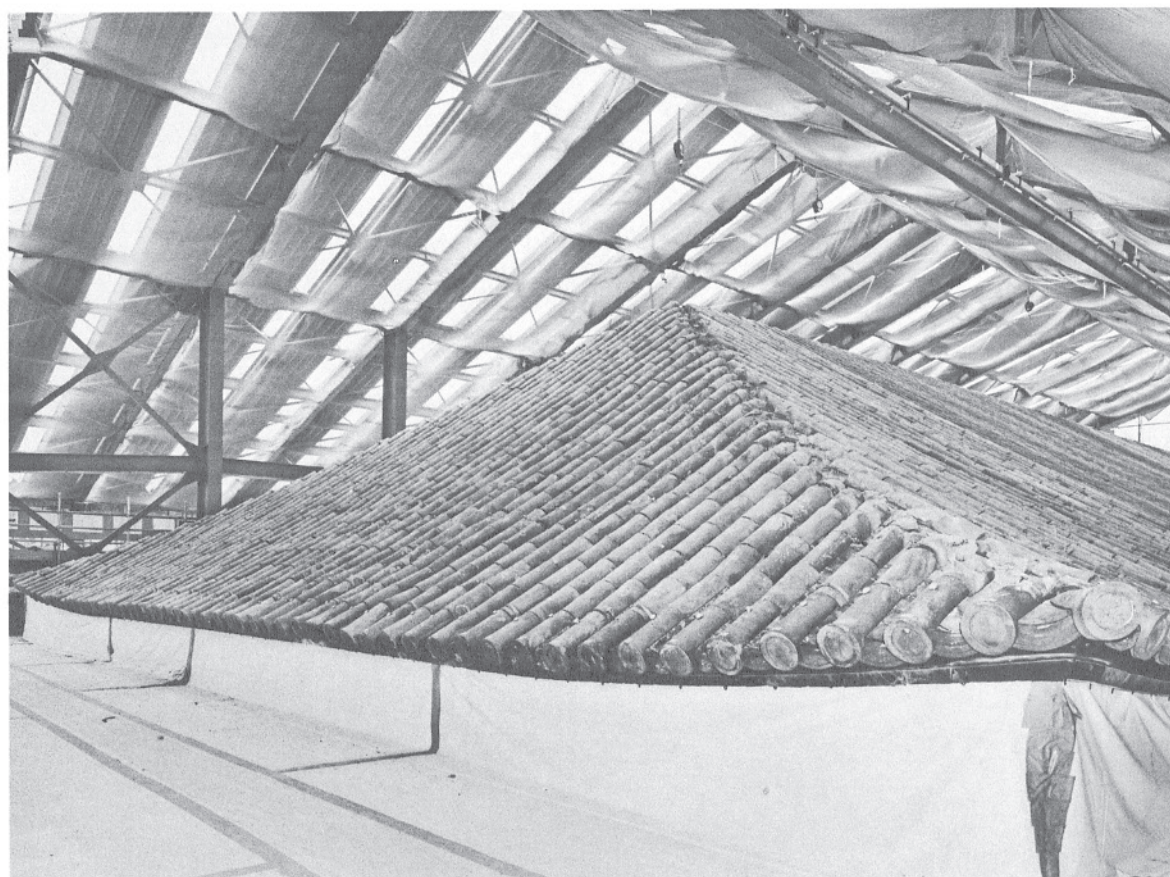
63 南面及び西面の棟積解体後の状況  
西南より見る。



64 南面及び東面の棟積解体後の状況  
東南より見る。東面の丸瓦の乱れがよくわかる。



65 東面及び北面の棟積解体後の状況  
東北より見る。

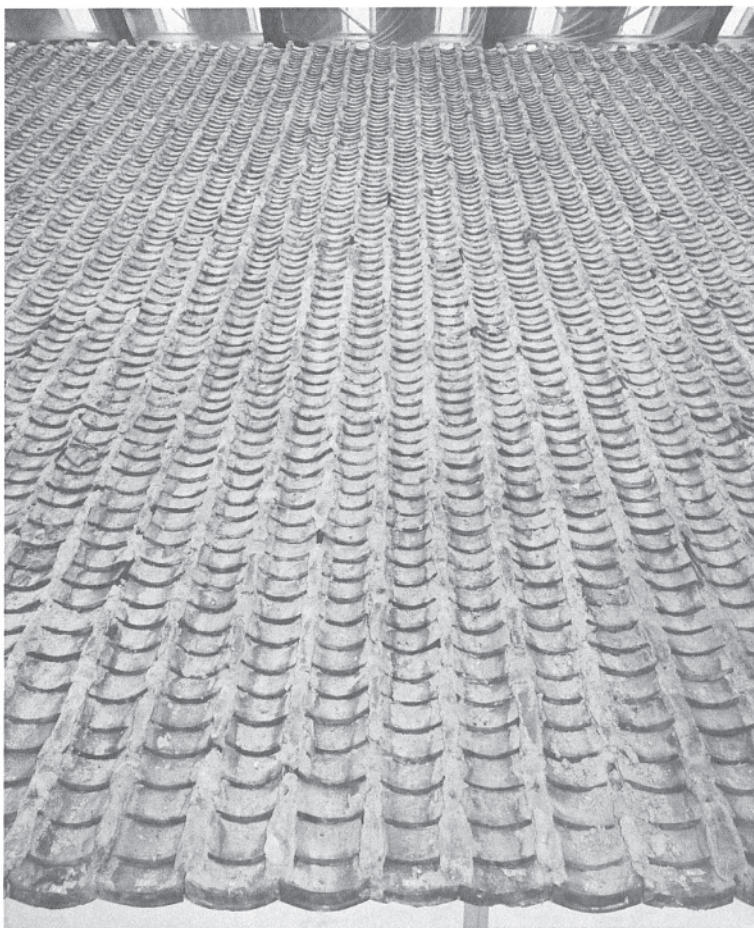


66 北面の棟積解体後の状況  
西北より見る。



67 東南一の鬼瓦の固定方法

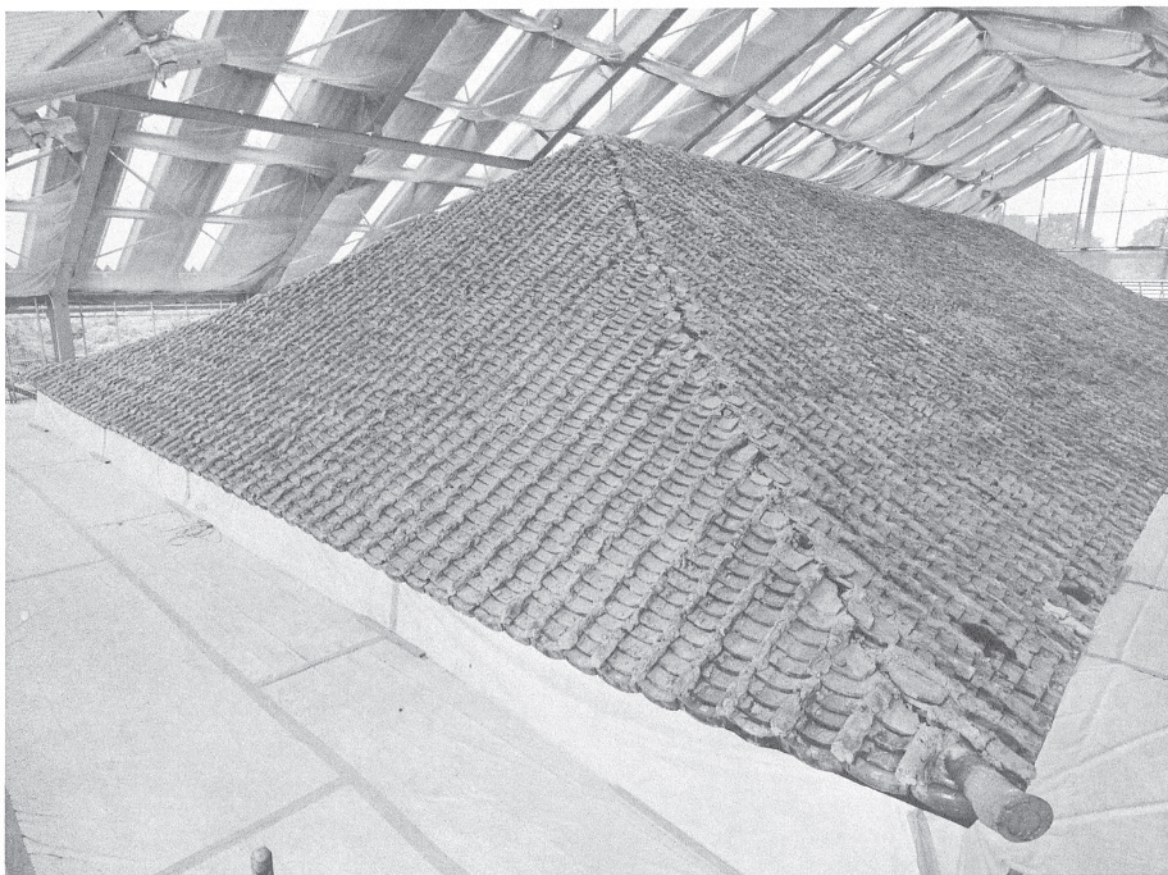
鬼瓦は、背面の把手にU字型に曲げた銅製の棒を引っ掛け、銅棒の反対側を鉤のように矩に折り曲げ、野地へ打ち付けて止めていた。銅棒は、大正修理時のものであり、それ以前の状況はわからなかった。



68 東面中央の丸瓦葺土の状況  
東より見る。



69 南面及び西面の丸瓦葺土の状況  
西南より見る。



70 南面及び東面の丸瓦葺土の状況  
東南より見る。部分的に白っぽい土が混ざり、場所によっては営巣の様子も見られた。